

健康 よもやま 話



清水 明

高齢化社会と言われて久しいですが、最近では90歳代の患者さんも珍しくありません。加齢による身体の変化は手の関節にもおこります。よくみられるのは①へバーデン結節②ブシャール結節③母指CM関節症—と呼ばれる関節症です。発症は40歳以降の女性に多いと言われています。

加齢による手の関節症

ていました。正式な病名は、医師の名前にちなむそうです。整形外科は人名に由来する用語が多く、覚えるのに苦労しました。

②ブシャール結節は、①と同じ症状が第2関節におこるものです。関節リウマチも同じ部位におこるので鑑別が必要になることがあります。

③母指CM関節症は、母指の付け根で手関節に近いところにおこる関節症です。物をつまんだり、蓋を開けるような動作の際に痛みます。

治療は、まず外用薬、内服薬、注射を行います。またテーピングや装具を使用することもあります。③については症状が進行した場合、手術を行うこともあります。このような症状がありましたら整形外科にご相談ください。

(北國ドクタークラブ会員、いしづるクリニック院長〓金沢市)

①へバーデン結節は手指の第1関節におこります。症状は疼痛や腫れ、曲げにくさなどです。また骨棘と呼ばれる骨の変形により、竹の節のようにになります。以前、見た目から「指曲り症」と呼ばれ